

平成28年第4回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日：平成28年3月28日（月）

II 開会時間：14時30分

閉会時間：17時15分

III 出席委員：委員長 藤原 一師
委員 野田 洋二
委員（教育長）板崎 彰

委員長職務代理者 川口 雅之
委員 近藤 寿子

IV 欠席委員：

V 会議に出席した者の氏名

教育次長 藤原 裕士	教育総務課長 櫻間 竜司
学校教育課長 住田 義広	社会教育課長 小原 小百合
(書記) 高島 芳枝	

VI 会議内容

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

平成28年2月23日（火）に開催された平成28年第3回玉野市教育委員会会議の議決事項等について、教育長報告なし。議事として「議案第8号 玉野市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の策定について」を審議，承認。協議なし。その他として「太陽光発電設備設置事業の進捗状況について」他2件を報告。

(承認)

3. 教育長の報告

(1) 平成28年3月 定例会市議会一般質問項目について

(板崎教育長) 資料により説明。

(社会教育課長) //

4. 議 事

(1) 議案第10号 玉野市教育委員会の職員の職名規則等の一部改正について

(教育総務課長) 資料により説明。

(承認)

(2) 議案第11号 玉野市立学校職員服務規程等の一部改正について

(教育総務課長) 資料により説明。

(承認)

(3) 議案第12号 玉野市教育委員会職員再任用事務取扱要綱の一部改正について

(教育総務課長) 資料により説明。

(承認)

(4) 議案第13号 玉野市立学校に勤務する県費負担教職員及び玉野商業高等学校教職員の「教職員の育成・評価システム」に係る苦情相談及び苦情処理に関する要綱の一部改正について

(学校教育課長) 資料により説明。

(藤原委員長) 「育成評価システム」が「人事評価制度」に替わるとどうなるのか。

(川口代理者) 今までに苦情申し立ての前例はあるのか？

(学校教育課長) 苦情申し立ては今までは無かった。「育成評価システム」とは、自己目標を設定し、それに従って、校長が面談をしながら1年間を通して達成度を評価

していた。それはあくまでも教員一人一人の目標管理についての評価だったので、今まで苦情はなかった。「人事評価制度」になると、それが給与に反映されることとなるので、いくらか苦情相談が出てくる可能性があると考えている。

(藤原委員長) 面談方法はかわるのか。

(学校教育課長) 方法はこれまでと同じで校長が面談し、最終の勤務評価がそのまま給与に反映されることとなる。

教頭が一次評価者・校長が二次評価者であったり、校長・教頭と一緒に面談したり、1回目の面談は学年団単位であったりと、様々な形で実施している。数値として結果が表れてこないのが教育の特徴であり、評価が難しいところである。制度変更についてはこれまでも学校に対して説明してきたが、4月当初には、校長・教頭に対し、教職員一人一人とよくコミュニケーションをよくとり、状況把握を徹底するよう伝えていく。

(藤原委員長) 面談が重要である。評価が良くない人には、頑張って評価が良くなるように面談をしてほしいと思う。

(承認)

(5) 議案第14号 教職員の育成・評価システムに係る玉野市立学校管理職評価者会議要綱の一部改正について

(学校教育課長) 資料により説明。

(承認)

(6) 議案第15号 玉野市生涯学習推進本部設置要綱の一部改正について

(社会教育課長) 資料により説明。

(承認)

(7) 議案第16号 玉野市スポーツ推進委員の委嘱について

(社会教育課長) 資料により説明。

(近藤委員) スポーツ推進委員は、具体的にどういったことをされているのか。

(社会教育課長) 地区のスポーツ推進ということで、子ども楽級や研修会にも参加してもらい、特にニュースポーツの普及に努めていただいている。

(承認)

5. 協 議 な し

6. その他

(1) 平成28年度 組織機構改革について

(教育総務課長) 資料により説明。

(2) 平成27年度末 人事異動について

(教育総務課長) 資料により説明。

(3) 平成28年度 当初予算の概要について

(教育総務課長) 資料により説明。

(学校教育課長) //

(社会教育課長) //

(野田委員) 習熟度別授業は、どうして縮小したのか。

(学校教育課長) 平成27年度は、中学1年生を対象に全校一律で実施していたが、学校によっては人数的に分けるほどでもない学校もあったので、実態に即した形に切り替えた。

(野田委員) 新しい学力状況調査については、地域差というよりも先生の指導力によって差が出るのではないか？

(学校教育課長) 先生が替わっても学力はある程度保障するという形を作っていかなければいけないと思っている。先生も世代交代が加速しているので、人が替わってもきっちり教えるべきこと教えていく形を作り、ある程度の学力は保障されるようにしていきたい。

(板崎教育長) 教員一人一人が自分の指導力も理解できる調査である。

(学校教育課長) 学校の弱点は、教員に対して「1年間の成果はこう」と指導することが難しいところであるが、この調査をすることによって明らかに数値で出て、他の地域と比べてどうかがわかるので、先生方に謙虚に受け止めてもらいたいと思っている。

(4) 玉野市立学校施設の耐震化状況について

(教育総務課長) 資料により説明。

(5) 平成28年度 教育委員による学校等視察の実施について

(教育総務課長) 資料により説明。

(板崎教育長) ひとまず、4～5月で保育園を全園視察し、その他は例年どおり秋に実施することとしてはどうか。

(教育総務課長) 保育園視察の日程について、5月17日(火)と24日(火)の2日間として良いか。

(各委員) 了解。

(6) 平成28年度 校園長会等の在り方について

(学校教育課長) 資料により説明。

(7) 平成28年度 玉野市立高等学校入学者の状況について

(学校教育課長) 資料により説明。

(8) 平成27年度 幼・小・中高等学校卒業式について(総括)

(板崎教育長) 田井幼稚園は、インフルエンザで当初の16日に実施できず、24日に卒業式となった。20名全員参加できて良かった。

(川口代理者) 宇野中は感動的だったが、人数が多かったので全体で2時間かかった。
卒業証書授与の方法を工夫して時間短縮を図ってもらいたい。

(板崎教育長) 荘内中も1時間40分であった。1時間30分程度におさまるように
したほうが良いと思う。

(近藤委員) 山田中は、体育館が明るく、人数が少なかったこともあり、ほのぼのし
ていて感動した。先生が一人ずつに声をかける時間もあって良かった。

(野田委員) 日比小はよく練習して、統制がとれていて良かった。玉中もとても良か
った。

(藤原委員長) 商業高校で、「蛍の光」と「仰げば尊し」は歌詞カードを見ながら歌っ
ていたことが残念だった。

(川口代理者) 最近、小学校・中学校で歌わず、高校で初めて歌うようである。

(藤原委員長) 手元を見るのではなく、前を向いて歌えるよう工夫してほしいと思う。

(9) 平成28年4月/5月 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明。

(藤原委員長) 次回教育委員会は平成28年4月5日(火)に開催するので参集願
います。

以上で、第4回教育委員会を閉会します。

議事録調製者

書記 高島 芳枝



会議録署名委員

委員長 藤原 一師



〃

教育長 板崎 彰

